



学校だより

2020年2月21日
No.10
射水市立堀岡小学校
校長 佐藤 静香

記録的な暖冬で、このまま雪を見ることなく春を迎えることになるのかと思っていたところ、2月に入って2度雪景色を経験することができました。久しぶりの雪に子供たちは大はしゃぎです。休み時間には、待ちきれない様子で外に飛び出し、雪合戦をしたり雪だるまを作ったりして存分に雪を楽しんでいました。

今回、残念だったのは高学年の子供たちが心待ちにしていたスキー学習です。ゲレンデの状態が十分ではなく、安全を第一に考えると中止の決定をせざるを得ませんでした。保護者の皆様には、ウェア等多くのご準備、ご協力をしていただき、ありがとうございました。来年度はぜひ、スキーの楽しさを味わってほしいです。

子供たちが大好きな雪ですが、時として大きな危険を生むこともあります。一昨年度の豪雪は記憶にも新しいところです。大人だけでなく、子供たちも登下校に苦労したのではないかと思います。今年はそのまでの豪雪には至らなかったとはいえ、この雪でも子供たちのために朝早くから交差点や歩道などの除雪をしてくださったり、登校に付き添ってくださったりした地域の方々には、頭の下がる思いがいたします。常に子供たちの安全を第一に考え、温かく見守ってくださっていること、この場を借りてお礼申し上げます。子供たちには、目に見えないところでも進んで誰かのために力を尽くしてくださる素晴らしい方々がたくさんおられることを伝えるとともに、自分たちを大切に思い、支えてくださる存在への感謝を忘れないよう教えていきたいと思っております。



避難訓練・防犯教室 2月13日(木)

今年度4回目の避難訓練は、射水警察署と射北交番の方にご協力をいただき、不審者対応の訓練を実施しました。不審者役の警察官の方が学校に侵入するという臨場感のある訓練に、教職員も子供たちも真剣に取り組んでいました。体育館に避難後、防犯教室も行い、「いかのおすし」を合言葉に、自分の命は自分で守ることの大切さを改めて学びました。



〈防犯教室〉

決してあってはならないことですが、犯罪に巻き込まれないためには、そして巻き込まれそうになったら、どう行動すればよいのかを考える貴重な機会になりました。また、警察の方からは、今後、様々な場合を想定し、本校なりのマニュアルを充実させていくようご指導いただきました。日頃からの備えも大切にしていきたいです。

本年度最後の学習参観 2月7日(金)

～ クラブ発表・PTA ネット安全教室・学年懇談会・学校評議員会 ～

平日にもかかわらず、大勢の皆様にご参観いただきありがとうございます。笑顔で授業をご覧になっておられる様子や後日いただいたアンケートから、子供たちの成長を実感しておられることがうかがえました。さらにこの日は「まっつんクラブ」「音楽クラブ」の発表やPTAのネット安全教室、学年懇談会、さらに学校評議員会も開催され、多くの方々にご来校いただいた半日でした。

学校評議員の皆様には、学校評価の結果や保護者の皆様からのご意見を基に、学校運営における成果や今後の課題について貴重なご意見をたくさん頂戴しました。ありがとうございました。来年度全面実施となる新学習指導要領には「生きる力」を育むことが重視されています。皆様からのご意見を大切に、今後も、予測困難といわれるこれからの社会を「たくましく」生きる堀岡っ子の

育成に向け、教職員一同心を合わせて励んでいきたいと思っております。

いつもとは違う教室で、積極的に手を挙げ、楽器に親しんでいる様子が見られてよかったです。友達と一つのことを一緒に取り組んでいる姿はいいですね。[3年保護者]

自分たちで考えて動けるようになってきたのだと成長を感じました。普段なかなか伝えられない感謝の言葉を聞けたり、大切に想っていることを伝えられたり、1/2成人式をきっかけに親子のつながりが強くなったように感じます。[4年保護者]

新聞を拡大した資料やテレビ画面での情報等、子供たちがより分かりやすいように工夫されて授業が進められていると思いました。一人一人の考えを肯定的に受け入れてくださり子供たちが安心して発表できる教室の雰囲気素晴らしいと思いました。[5年保護者]

スピーチを二人、三人、と聴いていくうちに学校での先生や友達との出会いに恵まれていたことを改めてありがたく思いました。(小学校生活)最後の素敵な学習参観でした。[6年保護者]

なわ跳び記録会 2月5日(水)・19日(水)

「寒さに負けず、自分の記録に挑戦する」「冬でも運動する習慣を身に付ける」の二つの目当てを掲げ、体育委員会を中心になわ跳び記録会を行いました。自己ベストを目指し記録を数え合ったり、色団全員で二重跳びリレーや大なわ八の字跳びに挑戦したりしました。



〈自己ベスト記録に挑戦〉

子供たちの力は素晴らしいです。上学年の跳び方を見よう見まねで繰り返すうちに、いつの間にかできるようになっています。できる技が増えると面白くなって、さらに上を目指したくなります。そうすると休み時間もどんどん練習するので、あっという間に上達します。よいモデルが身近にあり、自分もあんな風になりたいとあこがれをもつことが、子供の意欲を高めているのですね。ここにも堀岡小のよき伝統がつながっています。

読み聞かせ感謝の会 1月30日(木)

堀岡小学校では、年間を通じて朝読書の時間に本の読み聞かせに来ていただいています。テレビの画面とは違い、目の前の人から発せられる「語り」のもつパワーに、下学年の子供たちはいつも引き込まれていました。この日は今年度最終日ということで、ささやかな感謝の会を開催しました。子供たちの感謝の思いをにこやかに受け取ってくださり、ありがとうございました。子供たちが興味をもつような本を選んだり、どんなふうに読めばよいのか工夫されたりとご苦労も多かったかと思われま。子供たちは、温かな語り口から広がるお話の世界を楽しみにしています。今後ともよろしくお願いいたします。



〈心に残るお話をありがとうございます〉

よみかしのボランティアの人にかんしゃして、ありがとうしゅうかいをしました。大きなこえて「みみずのたいそう」がいてよかったです。ほくは、心がほっとしていいきもちになりました。ボランティアの人たちもいいきもちになったとおもいます。うれしいです。たのしかったのでまたいいきもちになりたいです。[1年児童]

音読集会 1月29日(水)

チームタイムに行われる音読集会では、毎回各学年題材を選び、時には身振り手振りを入れながら詩や短歌等の名文を紹介しています。今回は2年生が司会進行を担当しました。回を重ねるごとに表現力が増してきています。

音読集会でしかいをしました。6年生さんが音読している間はさんちょうしたけど、わたしの番になるとさんちょうかんなくなり、すっきりしました。音読では、みんなといきをあわせるのが難しかったです。[2年児童]

インフルエンザの流行等により、給食週間と読書週間の内容や期間が一部変更になりました。急な変更ではありませんが、素晴らしいのは委員会の子供たちです。すぐに変更に対応し、限られた時間の中ですべき役割を精一杯果たしていました。思うようにならないことがあっても、あるがままを素直に受け止め、その中で最善を尽くす。また一つ堀岡っ子のよさを見付け、うれしく思いました。

6年生は、あとひと月足らずで卒業式を迎えますが、この堀岡小学校で学び積み上げてきた日々を忘れず、自分たちのよさを大いに発揮し、自信と誇りをもって中学校へ羽ばたいていってほしいと願っています。